

平成 28 年 1 月 14 日

各 位



会 社 名 五洋食品産業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 舛田圭良
(コード番号 2230 TOKYO PRO Market)
問 合 せ 先 取締役社長室長 上木戸 一仁
(T E L 0 9 2 - 3 3 2 - 9 6 1 0)

第 2 四半期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 27 年 7 月 15 日に公表した平成 28 年 5 月期の第 2 四半期累計期間（平成 27 年 6 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日）の業績予想と比較して、本日公表の第 2 四半期業績において下記のとおり差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

平成 28 年 5 月期第 2 四半期累計期間（平成 27 年 6 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 881	百万円 35	百万円 22	百万円 16	円 銭 11.69
今回実績 (B)	906	47	28	22	15.63
増減額 (B-A)	24	11	6	5	
増減率 (%)	2.8	32.5	27.8	33.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期第 2 四半期)	711	△10	△22	△25	△26.37

※前回発表予想及び今回実績欄の 1 株当り当期純利益は、平成 27 年 11 月末現在の自己株式を除く期中平均株式数 1,414,713 を分母として算出しております。

2. 差異の理由

平成 28 年 5 月期第 2 四半期累計期間につきまして、従前から継続的に取り組んでいる営

業施策の効果が表れはじめたことから売上高が堅調に推移し、当初予想を上回ることとなったこと、また需要の拡大・供給量の増加に伴う工場稼働率の向上と生産設備の一部を更新した効果等による売上原価率の低減が図られたことから、営業利益、経常利益、当期純利益において前回予想を大きく上回ることとなりました。

なお、原材料価格の高騰や物流運賃の上昇など、外部経営環境が厳しさを増す懸念がありますことから、保守的な見地より通期の業績予想に変更はございません。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上